

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	17007
課題名	前立腺強度変調放射線治療をうける患者の排便・排ガスコントロールへの取り組み
研究期間	西暦 2017 年 6 月 1 日 ～ 2017 年 11 月 30 日
研究の対象	以下の期間に当院で前立腺強度変調放射線治療を受けられた方 2014 年 2 月 10 日 ～ 2017 年 4 月 18 日
利用する試料・情報の種類	☒ 診療情報（詳細：診療録、放射線治療部門システム等） ☐ 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） ☐ 血液 ☐ その他（ ）
研究の意義、目的	前立腺癌の強度変調放射線治療では、正確に実施するため毎回 CT を撮影してから放射線をあてています。前立腺は便やガスで場所がずれるため、撮影した CT 画像を確認して便・ガスの影響がある場合はいったん排便や排ガスをしてもらう必要があります。その場合、予約時間に治療が受けられない、治療時間が長くなる、CT の再撮影により放射線をあびる機会が増える、といったことがあります。内服のみでの排便・排ガスコントロール状況を分析した結果、十分なコントロールが得られず、患者さんの約 60% で CT の再撮影を要しました。 そこで、排便・排ガスコントロールのための方法として、オリエンテーションの内容の変更とウォシュレットを定期使用しての肛門刺激を行うこととしました。記録を見直すことで、この取り組みがどの程度の効果を果たしたかを評価したいと考えています。
研究の方法	診療録から排便・ガスのコントロールの認識と現状を、CT 画像からデータを収集し分析します。
その他	特になし
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先(研究責任者)： 所属：光学医療診療部・放射線部ナースステーション 看護師 氏名：斉藤容加

	電話番号 : 0166-69-3434
--	---------------------